

一宮西高校 同窓会報

第26号

2011年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp



「同窓会の紹介」

今回の東日本大震災では大勢の尊い生命が奪われ、計り知れない被害を受けました。亡くなつた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。

私は8回生で現在56歳になります。もう十数年も年末に同級生の忘年会兼ブチ同窓会をしておりまます。卒業アルバムを見ると、あの頃の思い出が走馬灯のように蘇ります。毎年同じような話ばかりしてますが：（笑）

でも歳を重ねる毎に話題も変わつてきました。最近では仕事、定年、年金、健康の話題を中心になつてきました。子供はほとんど成人して、早い人ではお爺さんお婆さんと呼ばれている人もいます。

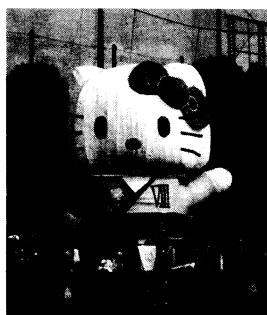
本人はまだまだ若いつもりですが…。

若い同窓会会員の皆さまはこれから社会に家庭に夢を持つてご活躍されると思います。同じ学校で学んだ学友の紹介は幾つになつても変わることはありません。自分たちもこれから数十年、話題は変わろうとも、同級生としての紹介を大切にしながら続けていきたいと思っています。

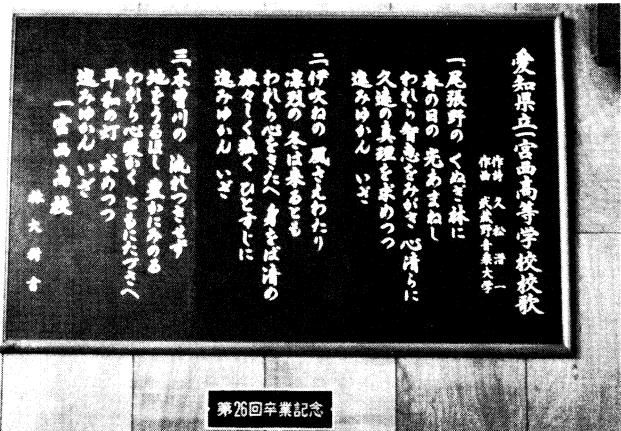
最後になりましたが、会員の皆さまには同窓会活動に対し、ご理解ご指導ご協力を賜り感謝しております。皆さまのご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げるとともに、今年度の総会にも多数のご参加をお待ち申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

我が西高同窓会も創立48年を迎え、同窓会の紹介はますますの高まりが期待されております。同窓会員の皆さまの中でも、お子様と一緒に同窓会の一員という家庭があると思います。人と人、親と子供、学校と保護者、いろいろな人間関わり、お互いに支え合つて協力しなければ紹介は成立しないと思

同窓会書記 伊藤 恒二郎



体育祭マスコット



26回生卒業記念品校歌額

います。

私は8回生で現在56歳になります。

もう十数年も年末に同級生の

忘年会兼ブチ同窓会をしておりま

す。卒業アルバムを見ると、あの

頃の思い出が走馬灯のように蘇つ

ります。毎年同じような話ばか

りしてますが：（笑）

でも歳を重ねる毎に話題も変わ

つてきました。最近では仕事、定

年、年金、健康の話題を中心にな

つてきました。子供はほとんど成

人して、早い人ではお爺さんお婆

さんと呼ばれている人もいます。

本人はまだまだ若いつもりなので

すが…。

若い同窓会会員の皆さまはこれ

から社会に家庭に夢を持つてご活

躍されると思います。同じ学校で

学んだ学友の紹介は幾つになつても

変わることはありません。自分た

ちもこれから数十年、話題は変わ

ろうとも、同級生としての紹介を大

切にしながら続けていきたいと思

つています。

最後になりましたが、会員の皆

さまには同窓会活動に対し、ご理

解ご指導ご協力を賜り感謝してお

ります。皆さまのご多幸とご健勝

を心よりお祈り申し上げるととも

に、今年度の総会にも多数のご参

加をお待ち申し上げ、ご挨拶とさ

せていただきます。

平成23年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第6回生第26回生学年同窓会同時開催)

日 時 8月6日(土)午後5時より
場 所 一宮スポーツ文化センター
会 費 5,000円(学生は3,000円)

※出欠は同封のハガキ、または

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp でお知らせください。

昨年はシステムの関係上、メールが届かない時期があり、ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。現在は利用できる状態になっていますので、是非ご利用下さい。

※来年度は、第7回生・第27回生の(昭和48年卒・平成5年卒)の学年同窓会を計画しております。

※西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>
も参考にして下さい。



1年遠足(リトルワールド)



予餞会劇

一宮西高校は再来年の平成25年度に50周年を迎えます。

昨年度の総会報告

平成二十二年度の総会は、昨年八月七日（土）午後五時より、一宮スポーツ文化センターで行われました。

五回生・二十五回生を中心として、総勢百二十一名の方々に参加していただきました。一昨年の学年同窓会は二十四回生のみの開催でしたが、昨年は二学年で開催することができました。そして、この数年の中では最も多くの方に参加していただきましたが、ご多忙にもかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

総会では、平成二十一年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成二十二年度の事業計画・予算案の審議、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていただいたように、同窓会費及び同窓会郵便料金などで盛り上がりしました。各テープでは、昔話に花が咲き、時間が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌齊唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年は六回生と二十六回生の学年同窓会を開催させていただきまし。昨年同様、多数の方が参加していました。なお、担当学年のかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場としても同窓会総会を大いに活用していました。

用していただけたら幸いです。今年度の総会に是非皆様お誘い合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。

東京支部会の報告

37回生 古川直樹（2003年卒）



東京同窓会

2010年度の一宮西高校同窓会東京支部会は、11月27日（土）に東京は新宿にて開かれました。初冬の肌寒さが増す中、総勢約25名の関東在住の卒業生の方々にご出席いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

一次会は、新宿東口の居酒屋の一室にて行いました。引き続き場所を移動しての二次会には、途中参加の方々も加わり、カジュアルな雰囲気の中、旧友や新たに知り合った同窓生との交流を温めました。

今回は、同窓会役員会から、会長の山内様、監査の大津様のお二

方に、はるばる東京までお越し

ただきました。現在の西高や一宮

の町の様子についてもご報告をい

ただき、参加者一同、懐かしいお話を耳を傾けました。本同窓会は、毎年参加していたいる常連の方々のお顔もあれば、今回初めて参加していただけた方、また、久しぶりに顔を見ることができました。そして、この数年の中では最も多くの方に参加していただきましたが、ご多忙にもかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

総会では、平成二十一年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成二十二年度の事業計画・予算案の審議、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていただいたように、同窓会費及び同窓会郵便料金では多くの方にご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

懇親会は、学年同窓会を担当した五回生・二十五回生に新会員の四十回生を加え、若々しい雰囲気の中で盛り上がりました。各テープでは、昔話に花が咲き、時間が経つのも忘れて旧交を温めることができます。懇親会を締めくくる校歌齊唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年は六回生と二十六回生の学年同窓会を開催させていただきました。昨年同様、多数の方が参加していました。なお、担当学年のかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場としても同窓会総会を大いに活用していました。

西高での30年間の感謝を込めて

岩田 幸雄

私は平成22年度を最後に37年間の教員生活を終えることになりました。一宮西高校には昭和52年から25年間と平成18年からの5年間の都合30年間勤務させていただけ、わが身の幸運を今改めてかみしめているところです。

この30年間を振り返ってみると、私にとって西高は3つの時代に分けることができます。はじめは学校群の時代です。高校入試の合格発表当日、西高に振り分けられて涙を流す中学生を目の当たりにして、3年後には「西高でよかった」と思つた」と思えるようにしてやろうと心に誓いました。しかし思つたように進学実績が上がらず、生徒たちに申し訳なく、担任としてつらく苦しい日々でした。

次は、学校群の終わり頃から複合選抜初期にかけての時代です。伝統校復活のために学校群制度が確立するために努力した時代です。西高は新しい学習指導要領になりましたが、素直で真面目な会員が集まり、西高では2つの大きな財産があります。ひとつは、これまで西高は絶えず変化することで、や現体制では優位に立つことはできなくなっているようです。もう一段高くジャンプしなければなりません。これは大変なことです。しかし、西高には2つの大きな財産があります。ひとつは、これまで西高は絶えず変化することで、新しい時代の要請に応えるとともに、いつの時代にも変わることのない普遍的価値をもつものを守ってきたという事実です。変わることは西高のお家芸です。もうひとつは、西高では互いに対立する価値觀とともに追求しつつ、その相克の中からこそより強固で洗練された体制が築き上げられるという信念です。立ちはだかる変化の要請をむしろ好機として素晴らしい飛躍を期待します。

ところで、西高が進学校として生き残るために生徒と教師が協力して果敢に挑戦し忍耐強く努力を続けてこられた根底には、西高では学習を第一としながらも部活動や生徒会行事を大切にしているという誇りがあり、そうした西高であり続けるためには努力を惜しまれています。実際、今年の卒業式の答辭の中では、時に対立する学習・部活・行事をより高いレベルで成し遂げるなかで人間にさらに高められた」という覚悟があつたのだと思つた。次元へと到達していくことこそが西高生の自己同一性であり、そ

離任式の挨拶

北川 潤子

私は、西高に8年間お世話にな

ることのためには労をいとわぬ姿勢が西高生の誇りであると明確に語られ、多くの参列者が感銘を受けました。

最後に西高の未来について述べたいと思います。去る者にその資格はないのですが、期待を寄せることがあります。実はここ数年の間に私立高校も含めれば7限授業は特別の生き残りをかけて果敢に改革を行っています。非常にオーブンな会です。関東圏に在住、また卒業生の皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

3つめは複合選抜制度の中で分掌主任・教頭として西高の位置を確立するために努力した時代です。学校の独自性を描き、地域の理解と信頼を得て、説明責任を果たさなければなりません。学校全体に西高を大切にしたいという思いが満ちていました。こうした熱気の中で学校週5日制の完全実施に伴い47分7限授業という当時としては画期的な授業形態を導入することができました。この生徒にも教員にも負担の多い体制の中にありながら、さらに補習・休日の学習教室をはじめ様々な指導を実施していく中で、以前にも増して多くの卒業生が志望校に進学できることになりました。

ところどころで、西高が進学校として生き残るために生徒と教師が協力して果敢に挑戦し忍耐強く努力を続けてこられた根底には、西高では学習を第一としながらも部活動や生徒会行事を大切にしているという誇りがあり、そうした西高であり続けるためには努力を惜しまれています。実際、今年の卒業式の答辭の中では、時に対立する学習・部活・行事をより高いレベルで成し遂げるなかで人間にさらに高められた」という覚悟があつたのだと思つた。次元へと到達していくことこそが西高生の自己同一性であり、そ

りました。今までのことを思い出します。思い出されます。西高のよい点ばかりが西高の最初の印象は、親の立場で安心して通わすことができる学校だと思いました。生徒はみんなで、傘を置いておいても、盗まれることはめったにありません。西高祭に代表されるのがほとんどありません。学校は平和で、傘を置いておいても、盗まれることはめったにありません。楽しみは、西高祭に代表されるように学校行事や部活で見つけました。他校では、生徒の自主性が失われ、自分たちでなにかを作り出し伝えていく力がなくなっています。しかし、学校行事が縮小され、部活動が停滞していくなか、昔と同じように生徒主体で行われる西高の行事や部活にはほっとしたことを感じています。

部活動が盛んで、特に人数の多い部活動はもちろんですが、少人数でもこつこつ続けていく姿に西高生の強さと素晴らしいを感じます。私が最初に顧問になつたのは、筝曲とバレーボールでした。西高で筝曲に出会うまで、生の琴の音すら聞いたことがありませんでしたが、縁があつて8年間、少しずつでしたが琴に触れることができ、演奏する機会を持たせていただき、本当によかつたと思いま

最初は生徒の楽しそうな生き生きした姿に目を奪われていましたが、そんな日常は、勉強との両立でとても忙しいということを知るにつれさらに驚きました。7限授業の上に、山ほどの課題、さらに定期テスト以外の小テストや補充に追試。生徒も大変ですが、先生も大変な学校だと思います。その先生の大変さを支えているのは、みんなが先生の期待に応えてくれるからだと思います。

自分の学生時代と比べ、よくこんな忙しい毎日を続けていけると感心しましたが、その中で、ちょっとした心遣いや楽しむことを忘れない姿にもつと驚き感心しました。

球技大会では毎回手作りゼッケン。ゼッケンを毎回作るだけでも大変なのに、さらにはひと工夫してあります。私も、今まで作成永久保存版にしたいものたくさんあります。私も、今まで作つてもらつたゼッケンをすべてしまってあります。応援も盛んで、優勝戦かと思つたら、敗者戦といふことも多くありました。西高祭はもちろん全力投球で、いろいろな仕事があるにもかかわらず、人材豊富でそれぞれが勉強以外の自分の得意分野を発揮する機会も多く、私も楽しませてもらいました。こんなイベントを経験できるみんなは、自分の学生時代のものではないでしょうか。なお、

昨年に引き続き、今年の修学旅行（5月18日～20日　広島・山口方面）においても、二年生全員が俳句を作る課題が与えられました。冒頭の三句はその中から選ばれた優秀作品です。今年は三日間とも天候に恵まれ、例年以上に有意義に過ごすことができた生徒が多くつたようです。冒頭の俳句以外にも、修学旅行の思い出が蘇る句が多数寄せられました。この同窓会報にも写真を二枚（原爆ドーム、秋吉台）掲載しました。高校時代に修学旅行で現地を訪れた方々も、当時のことが思い出されるのではないかと感じます。

昨年度も例年通り同窓会費（年間二千円）の納入をお願いしましたところ、二百五十一名の方から会費をいただくことが出来ました。同時にお願いしました協力金とあわせて、六十五万一千二百八円をいただきました。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願ひいたします。

今年度も、年会費二千円とは別に、一口千円を協力金としてお願いしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願ひいたします。

来年の修学旅行も、今年とほぼ同じコースで実施の予定です。

西高&INTERNET

1 西高OBのホームページ

9回生の鷲津秀樹さん主宰。西高の学校行事、部活動などの話題や、OB同士が情報交換できる掲示板など盛りだくさんで楽しい内容です。ぜひ、ご覧ください。<http://www.ops.dti.ne.jp/~iwh/>

2 西高メーリングリスト

28回生の牧さん主宰。西高の話題を中心に、さまざまな情報を交換しています。申し込みは、牧さんまで。

E-mail nishi-koh-owner@yahooroups.jp

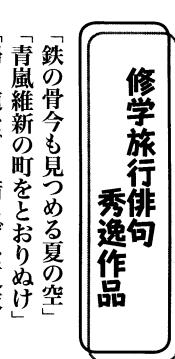
3 同窓会事務局へのお便り・出欠のご返事もE-mailでどうぞ。

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp

西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>

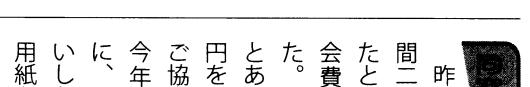
納入及び協力金のお礼



「鉄の骨今も見つめる夏の空」
「青風維新の町をとおりぬけ」
「帰り道なごり惜しげな夏衣」



原爆ドーム前



秋吉台

学園だより

昨年度の同窓会活動報告

【陸上競技】

ゴシック体は県大会出場

【女子テニス】
シングルス1名県大会出場
【県大会の結果】
【陸上競技】

富山県富山市
8月11日～8月13日

常任幹事 石原 史也

年度幹事

石原 史也

村上 拓史・平野 雅大・佐藤 智也・坪内 真下

白木 智也・坂井 真以

加藤 智也・佐藤 坪内

日比野 孝輔・坂井 真下

安川 直樹・伊藤 真下

石原 史也・伊藤 真下

千晴 小春

智春 小林 青山

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美

昌樹 青山

智春

千晴 小林 青山

智春

里奈 紗綾

仁美